

大阪南医療センターWi-Fi利用規約

第1章総則

(規約の適用)

第1条

大阪南医療センター（以下「当センター」）は、提供する「無料インターネット接続」（以下「本サービス」）に関して、ご利用される病院利用者（以下「利用者」）に対し、以下のとおり利用規約（以下「本規約」）を定めます。

(本規約の範囲及び変更)

第2条

1. 本規約は、本サービスの利用に関し当センター及び利用者に適用され、第5条（利用契約の申込）および第6条（利用契約の成立）で規定する利用契約が成立後、当センター及び利用者は誠実に本規約を遵守する義務を負います。

2. 当センターは、契約者の承諾を得ることなく、本規約を変更できるものとします。

(準拠法)

第3条

本規約の成立、効力、履行および解釈に関しては、日本法が適用されるものとします。

(管轄裁判所)

第4条

1. 本サービスに関連して、利用者と当センターとの間で紛争が生じた場合には、当該当事者がともに誠意をもって協議するものとします。

2. 前項の協議をしても解決しない場合、大阪府の地方裁判所富田林簡易裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

第2章利用契約の締結等

(利用契約の申込)

第5条

本サービスの利用を希望する場合は、本規約と Freespot 利用許諾に同意していただく必要があります。

(利用契約の成立)

第6条

利用者は、本規約の内容に同意される場合、本サービスへ接続することで本規約の内容に同意したものとみなし、利用契約が成立するものとします。

なお、利用者が本サービスへ接続した場合には、その時点でいかなる理由があっても本契約に同意したものとみなします。

第3章サービス

(第三者が提供する情報の利用)

第7条

利用者は、第三者が提供する情報の利用において、一切の責任は各情報の提供者に帰属していることに同意するとともに、当センターが当該取引契約及び情報提供の契約当事者でないことに同意するものとします。

(第三者が提供する情報の内容の保証) 第8条

1. 当センターは、第三者が提供する商品またはサービスに関し、いかなる保証もいたしません。また、第三者が提供する情報について、その完全性、正確性、確実性、有用性などにつき、いかなる保証もいたしません。
2. 当センターは、利用者が第三者の提供する情報を利用したことに関して、当該契約者と当該提供者との間に紛争が生じた場合について一切の責任を負いません。また、一切の費用または損害賠償を負担することはないものとします。

第4章 利用料金

(利用料金等)

第9条

本サービスの料金は、無料とします。

第5章 契約者の義務等

(禁止事項)

第10条

利用者は、本サービスの利用にあたって、以下の行為を行ってはならないものとします。

1. 他の施設利用者、第三者の著作権、又はその他の権利を侵害する行為、及び侵害のおそれのある行為。
2. 他の施設利用者、第三者の財産、又はプライバシーを侵害する行為、及び侵害のおそれのある行為。
3. 上記1、2の他、他の施設利用者に不利益又は損害を与える行為、及び与えるおそれのある行為。
4. 他の施設利用者、第三者を誹謗中傷する行為。
5. 公序良俗に反する行為、又はそのおそれのある行為、もしくは公序良俗に反する情報を他の施設利用者又は第三者に提供する行為。
6. 犯罪的行為、又は犯罪的行為に結び付く行為、もしくはそのおそれのある行為。
7. 選挙期間中であるか否かを問わず、選挙運動又はこれに類する行為。
8. 性風俗、宗教、政治に関する活動。
9. ID及びパスワードを不正に使用する行為。
10. コンピュータウイルス等の有害なプログラムを、本サービスを通じて、又は本サービスに関連して使用し、もしくは提供する行為。
11. 通信販売、連鎖販売取引及び業務提供誘引販売取引及びその他の目的で特定または不特定多数に大量のメールを送信する行為。
12. ファイル共有ソフトウェアからの使用等著しく大量なデータ送信する行為
13. 前各号に掲げるもののほか、法令に違反し、もしくは違反のおそれのある行為。
14. 本サービスを再販売、賃貸するなど、本サービスそのものを営利の目的とする行為。
15. 第三者になりすまして本サービスを利用する行為。

16. その他、当センターが不適切と判断する行為。

(自己責任の原則)

第11条

1. 利用者は、第10条（禁止事項）に該当する利用者の行為によって当センター及び第三者に損害が生じた場合、利用者としての資格を損失した後であっても、損害賠償等全ての法的責任を負うものとし、当センターに迷惑をかけないものとします。

2. 利用者は、本サービスを利用してアップロードまたはダウンロードした情報またはファイルに関連して、何らかの損害を被った場合または何らかの法的責任を負う場合においては、自己の責任においてこれを処理し当センターに対して何ら請求もなさず、迷惑をかけないものとします。

第6章当センターの義務等

(利用者資格の中断・取消)

第12条

利用者が以下の項目に該当する場合、当センターは、事前に通知することなく、直ちに該当者の契約者資格を中断または取り消すことができるものとします。

- ・第10条（禁止事項）で禁止している事項に該当する行為を行った場合。
- ・手段を問わず、本サービスの運営を妨害した場合。
- ・その他、本規約に違反した場合。
- ・その他、利用者として不適切と当センターが判断した場合。

(サービスの中止・中断)

第13条

1. 当センターは、以下の事項に該当する場合、本サービスの運営を中止または中断できるものとします。

- ・本サービスのシステムの保守または工事を定期的もしくは緊急に行う場合、または当センターのシステムの障害等やむを得ないとき。
- ・戦争、暴動、騒乱、労働争議、地震、噴火、洪水、津波、火災、停電その他の非常事態により、本サービスの提供が通常どおりできなくなった場合。

2. 当センターは、前項の規定により、本サービスの運営を中止または中断するときは、予めその旨を事前に通知するものとします。ただし、緊急でやむを得ない場合は、この限りではありません。

3. その他、当センターが本サービスの運営上、一時的な中断が必要と判断した場合。当センターは、本条に基づく本サービスの中止または中断により、利用者または第三者が被ったいかなる損害についても責任を負わないものとします。

(情報の削除、通信利用の制限等)

第14条

1. 当センターは、利用者が第10条（禁止事項）各項の行為を行った場合、本規約に違反した場合、当センターの通知や指導に従わなかった場合、その他当センターが必要と認めた場合において、次の各号の措置のいずれかまたはこれらを組み合わせた措置を講ずることがあります。

- ・当センターは、本サービスの運営上必要であると判断したときなどに、利用者が当センター所

定の通信手段を用いて行う通信について、当該通信に割り当てる帯域を制限することがあります。

・利用者の本サービスの利用を一時的に停止します。

2. 当センターは、本サービスにおいて青少年保護の観点から青少年が利用することが望ましくないと当センターが判断するサイト等へのアクセスを制限（フィルタリング等）する場合があります。

3. 当センターは、本条第1項各号、及び第2項の措置を講じる義務を負うものではなく、また講じたことまたは講じなかったことに起因して利用者または第三者が被ったいかなる損害についても責任を負わないものとします。

第7章損害賠償等

（責任の制限）

第15条

当センターは、利用者に対し本サービスを間断なく提供する義務を負うものではなく、本サービスが何らかの理由により利用者に対し提供されなかった場合においても、当センターはそのことにより利用者が生じた損害について一切の責任を負わないものとします。

（免責事項）第16条

1. 当センターは、本サービスの提供に関連して利用者が生じた損害についての一切の責任を負いません。

2. 本条第1項の規定は、当センターの故意または重大な過失による場合は適用されないものとします。

3. 当センターは、本サービスの内容、及び利用者が本サービスを通じて得る情報等について、その完全性、正確性、確実性、有用性等のいかなる保証も行わないものとします。

4. 当センターは、利用者のご利用になるいかなる機器、及びソフトウェアについて一切動作保証は行わないものとします。

5. 当センターは、利用者が本サービスを利用することにより第三者との間で生じた紛争等に関して、一切責任を負わないものとします。

6. 利用者の情報の消失、利用者のコンピュータのコンピュータウイルス感染等による被害、データの破損、漏洩、その他本サービスに関連して発生した利用者の損害について、当センターは一切の責任を負わないものとします。

7. 利用者がインターネット上で利用した有料サービスについては、その理由にかかわらず、当該利用者が費用を負担するものとします。

8. 本サービスへの接続に係る機器の設定は、利用者が行うものとします。

9. 当センターは、本サービスの適切な利用を図るため、利用者のMACアドレス、アクセスログを記録したり、特定のWebサイトへの接続を制限したりすることがあります。

令和2年10月

大阪南医療センター院長